

「基本理念」

ご利用者の「健やかな生活」の実現のため、心をこめた福祉サービスの提供を全力で実行します。

「Purpose（パーパス：存在意義）」

人々の豊かな生活、地域社会、そして日本を支える「福祉」、私たちは「誇り」を持って、日本の福祉を「創造」し、「挑戦」します。

「私たちが決めた行動計画」

1. チームワーク            助け合い、認め合い、高め合い、大きなうねりを生み出そう！
2. 柔軟性                 色々な考えの方を受け入れ、状況に合わせて対応しよう！
3. 経営理念の共有        メンバーひとりひとりが法人の理念や方針を理解し、責任を持って行動していこう！
4. コミュニケーション    常に声をかけあい、メンバーと意思疎通を図り、情報共有しよう！
5. 目標達成志向         目標に向け、個人が同じ気持ちで取り組めるよう努力しよう！

経営基盤の安定の為に5つの視点「利用者視点」「財務視点」「人材視点」「地域貢献視点」「ガバナンス視点」に基づき、全事業所、セクションで統一した事業目標、事業計画の作成を行い、法人全体でベクトルを合わせた事業展開に取り組む。

5つの視点と方針

1. 利用者視点 ～接遇 (=Entertainment) と専門職としての誇り (=Pride)～

法人職員として、各専門職が知識、技術の向上を目指し専門性を高めるとともに、法人キャッチフレーズ「立ち止まり 目配り 気配り 思いやり」を基本とした明るい笑顔、身だしなみ、柔らかな言葉づかいを心掛け、ご利用者、ご家族等から信頼される接遇の実践を徹底する。また、「自立支援」の視点により、ご利用者の潜在能力を引き出すことで、オムツゼロ、常食化、介護度の改善を目指したケアの実践やご利用者の「自己決定」を尊重した支援を実践する。さらに、ご利用者の「尊厳を守るケア」（身体拘束廃止、ターミナルケア等）の実現に向けて、提携医療機関との連携を図り、チームケアに取り組んでいく。

2. 財務視点 ～職員個々が経営者となるアメーバ経営への挑戦 (=Challenge)～

2019年度は、10月に消費税増税に伴う報酬改定があるため、新たな報酬算定構造の中で各施設、事業所が生き抜くための経営施策を早期に検討し実践していく。また、当法人がこれまでも力を入れてきた各施設、事業所における事業実績の管理はこれまで以上に精度を高め、稼動目標の達成に向けた施策を実践するとともに、支出の適正管理に努め、経営の安定化を図る。これにより、職員の待遇改善や施設・事業所の老朽化対策、法人設立50周年記念事業に備えた目的積立金の積立を計画的に行っていく。

3. 人材視点 ～より良い人間関係 (=Good Human Relations) を職員が自ら創る～

安定的な人材確保と育成、定着率の向上は、法人の運営に欠かすことができない重要な要素である。そのためには、2019年10月の報酬改定による待遇改善を可能な限り幅広く法人全体の職員に対し実現するとともに、職員が働きやすい環境を創ること、そしてより良い人間関係のもとでやりがい、誇りを持って、仕事に向き合うことができる環境を創ることが必要であると考えている。具体的な施策としては、職員のワークライフバランスの推進（時間外勤務の減少、有休消化率の向上等）に取り組むとともに、法人内外の研修、各施設、事業所での新人育成システム（プリセプター制度等）とプリセプターへのフォローアップ制度の充実を図り、総合的な職員育成に取り組んでいく。また、当法人は、340名を超える職員が在籍する法人となり、リーダー、主任等の中間管理職の役割が重要になっている。そのため、組織体制の強化を目的として、「自反尽己」の精神で職員や業務に向き合うことができるリーダーの育成と次代の経営者候補の育成に取り組んでいきたいと考えている。

4. 地域貢献視点 ～「我が事・丸ごと」の地域創り (=Create Regional)～

法人独自の取り組みとして、認知症状改善塾の開催、いしやま朝市送迎バスの運行、介護なんでも相談会の実施、地域住民、小・中・高校生へ福祉教育の推進を継続するとともに、さらに幅を広げた地域社会への貢献活動の推進を図る。

5. ガバナンス視点 ～法令遵守 (=Compliance) と法人経営の見える化～

改正社会福祉法を遵守した法人全体の組織体制の中で、理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会、苦情解決・虐待防止第三者委員会の適正な運営と透明性の高い法人運営を推進する。また、顧問契約先の会計事務所、社会保険労務士からの助言、指導を得て、コンプライアンス経営の推進を図る。その他、法人理念、方針、パーパスを職員への目的意識へと醸成し、法人全体で一丸となって事業運営を推進するとともに、自浄作用の働く組織作りに向けた職員間のコミュニケーションの強化を図る。

